

平成31年度グッドライフケア24
定期巡回随時対応型訪問介護看護事業
外部評価結果報告

1、評価方法

- ・厚労省の評価シートを一部改編し使用した。
- ・ドナベディアンの評価の枠組み、構造（ストラクチャー）評価、プロセス評価、アウトカム評価の側面からデータを整理した。
- ・各項目に自由記載欄を設定し、コメントを依頼した。
- ・評価理由を記載した自己評価シートを同封した。

2、配布機関

- ・保険者、近隣地域の地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、及び関係機関15か所へ配布し、4か所より回答を得た。

3、調査結果

- ①ストラクチャー-：平均18.7点/32点
- ②プロセス：平均39点/60点
- ③アウトカム：平均7.5点/8点

4、結果と考察

構造評価は6割にとどまり、評価が高いとは言えない。プロセス評価は7割弱の肯定的な評価がある。アウトカムにおいては、9割を超える肯定的評価を得た。評価の回収率としては2割と低いことから、当サービスの状況をさらに広く、詳しく関係者等に報告していく必要がある。

ストラクチャー（事業運営）に関する情報は公開、提供を積極的に行っておらず、外部関係者が評価できる材料がないことが明確である。事業運営についての情報を公開することで、安心してサービスを受けられることを周知する必要がある。

アウトカム評価を裏付けられるような、プロセスの情報共有も重要である。具体的な手段やツールの情報が外部関係者へは周知できていないことがわかった。サービス事業所としての取り組みをさらにわかりやすく、関係者や地域の方々に周知出来企業努力が必要である。

5、2019年度の取り組み

この定期巡回随時対応型訪問介護看護事業は、地域包括ケアの中核になるサービスであり、今後の超高齢化社会において最後の砦とも言われている。当サービスを未だ知らない地域の利用者や利用したことのない介護支援専門員等に当サービスを理解してもらうための法人としての取り組みを検討していく。

今期弊社は、退院直後の「グッドライフケアの退院サポートサービス」として弊社独自に定期巡回随時対応型サービスの連携事業所の弊社訪問看護ステーションと連携し、リハビリ職によるリハビリテーションの訪問（定期巡回訪問看護）を週に複数回必要に応じ位置づけ、退院直後1か月間で在宅生活を整える取り組みを開始した。この取り組みの効果を広く告知できるよう工夫していく。

自己評価

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 自己評価 | | | | | コメント |
|-------------------------------------|------|--|-------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------------|---|
| | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | (できて いる 4点) | (ほぼ できて いる 3点) | (できて いない こと 2点) | (全く できて いない 0点) | (実施 状況を 知らな い 0点) | |
| I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営] | | | | | | | | |
| (1) 理念の明確化 | | | | | | | | |
| サービスの特徴を踏まえた理念の明確化 | 1 | 事業所独自の理念を誰でも把握できるように情報提供している | ○ | | | | | 事業所内の誰でも目につく場所に掲示している。また、持ち運び用のカードタイプも全員に配布している。 |
| (2) 適切な人材の育成 | | | | | | | | |
| 専門技術の向上のための取り組み | 2 | 専門技術向上のため、職員を育成するための研修を行い、最大限に能力が発揮されるようにしている | ○ | | | | | ヘルパーの能力に合わせた研修制度を設けている。月1回は必ず全員で研修を行っている。 |
| 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保 | 3 | 介護職・看護職の間で、利用者の特性や状況についてケアカンファレンスを行い、関係者へ情報共有している | ○ | | | | | 看護師と計画作成責任者でカンファレンスを行い、訪問するヘルパー他、関係者に情報共有している。 |
| (3) 適切な組織体制の構築 | | | | | | | | |
| 組織マネジメントの取り組み | 4 | 利用者の特性に応じて柔軟にサービスを提供するため、最適かつ柔軟にヘルパー配置を行っている | ○ | | | | | 地域別にヘルパーを巡回させ、随時対応時に素早く訪問できる体制を取っている。 |
| 介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映 | 5 | 介護・医療連携推進会議で得られた要望や助言等を、サービス提供に適切に反映させ、その後についても情報共有をしている | ○ | | | | | いただいた助言を元にサービス提供を行い、その後の経過を関係者に情報提供している。 |
| (4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備 | | | | | | | | |
| 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備 | 6 | 利用者等の状況について、必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている | ○ | | | | | 法人内で開発した情報連携システムを利用し、迅速に情報連携をしている。 |
| (5) 安全管理の徹底 | | | | | | | | |
| 職員の安全管理 | 7 | 職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている | ○ | | | | | 安否確認システムを構築し、緊急時に全職員の安否確認が取れる状況にしている。 |
| 利用者に係る安全管理 | 8 | 事業所において、利用者に係る個人情報の適切な取り扱いと保護について、安全管理を徹底している | ○ | | | | | 書類は鍵の掛かる場所に保管し、パソコンや携帯電話はロックをかけ、紛失時は遠隔操作で使用できないようにしている。 |
| ※採点欄の記入は不要です。 | | | 8個 | 個 | 個 | 個 | 個 | 合計点 |

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 自己評価 | | | | | コメント |
|--|------|---|---------------|-----------------|------------------|------------------|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | (4点) できている | (3点) ほぼできている | (2点) できていないこと | (1点) 全くできていない | (0点) 実施状況を知らない | |
| II 過程評価 (Process) | | | | | | | | |
| 1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 | | | | | | | | |
| (1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成 | | | | | | | | |
| 利用者の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施 | 9 | 利用者の一日の生活リズムに着目し、介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施している | ○ | | | | | 安否確認システムを構築し、緊急時に全職員の安否確認が取れる状況にしている。 |
| 利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成 | 10 | 利用者の「心身機能の維持回復」や「在宅生活の継続」に軸足を置いた計画の作成をしている | ○ | | | | | 書類は鍵の掛かる場所に保管し、パソコンや携帯電話はロックをかけ、紛失時は遠隔操作で使用できないようにしている。 |
| (2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し | | | | | | | | |
| 計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供 | 11 | 計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者の状況に変化が生じた場合、必要に応じて定期巡回・随時対応サービスをしている | ○ | | | | | 夏に水分摂取が足りないような時や状態が安定していない時に訪問回数を増加して対応している。 |
| 継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映 | 12 | 月1回モニタリングを実施し、利用者の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映をしている | ○ | | | | | モニタリングだけでなく、責任者が必ず訪問し状態変化を見逃さないように努めている。 |
| (3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供 | | | | | | | | |
| 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供 | 13 | より効率的・効果的なサービス提供をするため、介護職、看護職のそれぞれが専門性を活かし役割分担が行なわれている | ○ | | | | | 介護と看護、お互いのサービス時間・内容に合わせて、柔軟に日時や内容を変更し対応している。 |
| 看護職によるサービス提供に関する指導、助言 | 14 | 看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている | ○ | | | | | 最低でも月に1回看護から介護へ助言をいただき、状況に合わせてその都度指導・助言をもらっている。 |
| (4) 利用者等との情報及び意識の共有 | | | | | | | | |
| 利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供 | 15 | サービス開始前に、本サービスが「心身の機能の維持回復」と「利用者の在宅生活の継続」を実現するためのサービスであり、アセスメントに基づき左記の趣旨に沿ってサービス提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている | ○ | | | | | 契約時に重要事項説明書を確認していただきながら説明し、ご了承いただいている。 |
| 利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供 | 16 | 作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分に説明を行っている。利用者の状況変化や、それに伴うサービス提供の変化について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている | ○ | | | | | 計画書を作成後、説明・配布しご自分で確認できるようにしている。ご家族様には訪問時やケアマネージャーを通して、その都度お話しさせていただいている。 |
| ※採点欄の記入は不要です。 | | | 8個 | 個 | 個 | 個 | 個 | 合計 点 |

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 自己評価 | | | | | コメント |
|---|------|---|---------------|-----------------|------------------|------------------|-------------------|---|
| | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | (4点) できている | (3点) ほぼできている | (2点) できていないこと | (1点) 全くできていない | (0点) 実施状況を知らない | |
| 2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント | | | | | | | | |
| (1) 共同ケアマネジメントの実践 | | | | | | | | |
| 利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案 | 17 | ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている。また、必要に応じてケアプランへの積極的な提案が行われている | ○ | | | | | 定期的なモニタリング報告を行い情報を共有している。プラン提案も必要に応じて行っている。 |
| 定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供 | 18 | サービス担当者会議等の場を通じて、利用者の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている | ○ | | | | | 担当者会議では必ず現状のサービス状況・目標に対する評価をお伝えしている。 |
| (2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献 | | | | | | | | |
| 利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討 | 19 | 利用者の在宅生活の継続に必要なとなるサービスについてや、病院・施設への入退院・入退所の際などに、切れ目なくサービスを提供するため、多職種による検討や情報の共有が行われている | ○ | | | | | 往診医や訪問看護と連携し、情報共有をすることで切れ目ないサービスが実施できるように努めている。 |
| 多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案 | 20 | 利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方法について検討し、共有がされている | ○ | | | | | 役割分担を明確にし、効果的なケアができるように連絡を取り合い、サービスを実施している。 |
| 3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 | | | | | | | | |
| (1) 地域への積極的な情報発信及び提案 | | | | | | | | |
| 介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信 | 21 | 介護・医療連携推進会議の記録は、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が行われ、サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている | ○ | | | | | ホームページに載せている。 |
| (2) まちづくりへの参画 | | | | | | | | |
| 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解 | 22 | 行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している | ○ | | | | | 研修に高齢介護課介護事業指定係から講師として来ていただき、地域包括ケアシステムの研修を行った。 |
| サービス提供における、地域への展開 | 23 | サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開している | ○ | | | | | 人員の状況にもよるが、できるだけ広範囲でサービスの受け入れを行い、実施している。 |
| ※採点欄の記入は不要です。 | | | 7個 | 個 | 個 | 個 | 個 | 合計 点 |

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 自己評価 | | | | | コメント |
|-------------------------|------|---|-------------------|---|---|--|---|--|
| | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | できて いる (4点) | ほ ぼ で き て い る (3点) | が で き て い な い こ と (2点) | 全 く で き て い な い (1点) | 実 施 状 況 を 知 ら な い (0点) | |
| Ⅲ 結果評価 (Outcome) | | | | | | | | |
| サービス導入後の利用者の変化 | 24 | サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている | ○ | | | | | 目標達成及び、状態の改善、維持継続が図られている。 |
| 在宅生活の継続に対する安心感 | 25 | サービスの導入により、利用者や介護者が、在宅生活の継続に対して安心感を得ることができている | ○ | | | | | 「毎日来てくれるから安心」 「緊急時に呼べるから安心」 等のお言葉を多数いただいております。 |
| ※採点欄の記入は不要です。 | | | 2個 | 個 | 個 | 個 | 個 | 合計 点 |

外部評価

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 外部評価 | | | | | コメント |
|------------------------------|------|--|-------------------|---|-------------------------------|--|---|---|
| | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | できて いる (4点) | ほ ぼ ど き て い る (3点) | が 多 い こ と (2点) | 全 く で き て い な い (1点) | 実 施 状 況 を 知 ら な い (0点) | |
| I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営] | | | | | | | | |
| (1) 理念の明確化 | | | | | | | | |
| サービスの特徴を踏まえた理念の明確化 | 1 | 事業所独自の理念を誰でも把握できるように情報提供している | 2 | | | | 2 | どちらを確認すればよいかわかりません。評価のしようがないのかと思います。理念と行動指針を誰にでも目に付くところに掲示し常に職員が携帯し、意識できることはよいことだと思います。今後も理念と行動指針を実際の介護現場で常に実践できるよう期待します。 |
| (2) 適切な人材の育成 | | | | | | | | |
| 専門技術の向上のための取り組み | 2 | 専門技術向上のため、職員を育成するための研修を行い、最大限に能力が発揮されるようにしている | 1 | | | | 3 | 引き続き、個々の能力や経験、職種に合わせた研修や、全員での研修を行っていただければと思います。研修はなさっていると思いますが、どのような研修をされているかわかりません。 |
| 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保 | 3 | 介護職・看護職の間で、利用者の特性や状況についてケアカンファレンスを行い、関係者へ情報共有している | 2 | 1 | | | 1 | ヘルパー他、関係者の方へも情報提供しているとのことで、情報の伝達がスムーズにできていると感じます。引き続き利用者に適切なサービスが提供できるようお願いいたします。 |
| (3) 適切な組織体制の構築 | | | | | | | | |
| 組織マネジメントの取り組み | 4 | 利用者の特性に応じて柔軟にサービスを提供するため、最適かつ柔軟にヘルパー配置を行っている | 2 | 1 | | | 1 | 引き続き最適な人材配置に向けて努めていただけたらと思います。 |
| 介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映 | 5 | 介護・医療連携推進会議で得られた要望や助言等を、サービス提供に適切に反映させ、その後についても情報共有をしている | 1 | 2 | | | 1 | 引き続き助言等を基にしてサービス提供を行っていただき、その後の経過等の情報共有を行っていただけたらと思います。 |
| (4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備 | | | | | | | | |
| 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備 | 6 | 利用者等の状況について、必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている | 1 | 2 | | | 1 | 貴事業所のシステムにより、迅速な情報共有ができています。今後も最善の対応ができるよう、情報共有に万全の体制を取っていただきたいと思っています。 |

| (5) 安全管理の徹底 | | | | | | | |
|---------------|---|--|----|---|--|--|---|
| 職員の安全管理 | 7 | 職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている | 2 | 1 | | | 現状でできる限りの安全対策を取られていると思います。安全を確保するためのコストもかかると思いますが、引き続き、職員の安全を大事にする風土を根付かせていただきたいと思います。近年、巨大地震や、台風・豪雨による洪水や土砂災害などにより、甚大な被害が引き起こされています。災害時においても職員自身や職員の家族の安全を確保したうえで、利用者へのケアが迅速にできるよう、定期的に防災訓練を行う等有事に備えていただきたいと思います。職員の方々が移動時にヘルメットをかぶっているのをよく見かけます。対策されているのだと感じます。 |
| 利用者に係る安全管理 | 8 | 事業所において、利用者に係る個人情報の適切な取り扱いと保護について、安全管理を徹底している | 1 | 2 | | | 情報漏洩は、いかなる団体、企業にとっても存続の危機に至る可能性があり、職員一人一人が情報セキュリティに関して高い意識を持つことが必要です。セキュリティに関する研修を職員全員に受講していただくことも検討されてはいかがでしょうか。 |
| ※採点欄の記入は不要です。 | | | 12 | 9 | | | 合計 75点 |

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 外部評価 | | | | | コメント |
|---|------|--|---------------|-----------------|------------------|------------------|--|------|
| | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | (4点) できている | (3点) ほぼできている | できていないこと (2点) | 全くできていない (1点) | 実施状況を知らない (0点) | |
| II 過程評価 (Process) | | | | | | | | |
| 1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 | | | | | | | | |
| (1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成 | | | | | | | | |
| 利用者の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施 | 9 | 利用者の一日の生活リズムに着目し、介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施している | | 2 | | | 自己評価のアセスメントが7番のコメントとなっています。利用者一人一人の生活リズムに配慮したサービス提供を行うためにも、日々の状態観察が不可欠であると思いますので、利用者のわずかな変化にもできる限り気づけるよう、努めていただきたいと思います。 | |

| | | | | | | | | |
|--|----|---|----|----|--|--|---|--|
| 利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成 | 10 | 利用者の「心身機能の維持回復」や「在宅生活の継続」に軸足を置いた計画の作成をしている | 2 | | | | 2 | 自己評価のコメントが8番のコメントとなっています。利用者や利用者家族が十分納得したうえで、必要な量の支援を受けられるよう、引き続き努めていただきたいと思います。 |
| (2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し | | | | | | | | |
| 計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供 | 11 | 計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者の状況に変化が生じた場合、必要に応じて定期巡回・随時対応サービスをしている | 2 | 1 | | | 1 | 臨機応変に訪問を追加できるこのサービスの強みを最大限に生かし、利用者の在宅生活を支えていることは大変評価できると思います。 |
| 継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映 | 12 | 月1回モニタリングを実施し、利用者の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映をしている | 3 | 1 | | | | 引き続き、利用者や利用者家族の意向も十分に介護計画に反映できるようリサーチをお願いします。 |
| (3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供 | | | | | | | | |
| 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供 | 13 | より効率的・効果的なサービスを提供するため、介護職、看護職のそれぞれが専門性を活かし役割分担が行なわれている | 2 | 1 | | | 1 | 他法人の訪問看護事業所とも引き続き適宜情報共有を図っていただきたいと思います。 |
| 看護職によるサービス提供に関する指導、助言 | 14 | 看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている | 2 | 1 | | | 1 | 看護職員からの指導、助言が確実に介護職に伝わり、その通りに対応できているかどうか適宜確認するようお願いいたします。 |
| (4) 利用者等との情報及び意識の共有 | | | | | | | | |
| 利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供 | 15 | サービス開始前に、本サービスが「心身の機能の維持回復」と「利用者の在宅生活の継続」を実現するためのサービスであり、アセスメントに基づき左記の趣旨に沿ってサービス提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている | | 3 | | | 1 | 利用者や利用者家族は、介護保険制度について、初めから十分に熟知している方は少ないので、懇切丁寧な説明を行うとともに、利用者や家族が気軽にサービスについて聞きやすい体制を取っていただくようお願いいたします。 |
| 利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供 | 16 | 作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分に説明を行っている。利用者の状況変化や、それに伴うサービス提供の変化について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている | 2 | 2 | | | | 利用者が質の高い在宅生活を送るために支える側の介護サービス提供者のスキルも大事ですが、同様に精神面で利用者本人を支える家族の理解も大事であり、引き続き家族との連携を密にいただきたいと思います。 |
| ※採点欄の記入は不要です。 | | | 11 | 13 | | | 0 | 合計 83点 |

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 外部評価 | | | | | コメント |
|---|------|---|---------------|-----------------|------------------|------------------|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | (4点) できている | (3点) ほぼできている | (2点) できていないこと | (1点) 全くできていない | (0点) 実施状況を知らない | |
| 2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント | | | | | | | | |
| (1) 共同ケアマネジメントの実践 | | | | | | | | |
| 利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案 | 17 | ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている。また、必要に応じてケアプランへの積極的な提案が行われている | 3 | 1 | | | | 利用者と最も接する時間の多い貴事業所が、もっている情報を関係機関に提供することで、より本人の状態に適したサービスが提供できると思いますので、引き続きプランへの積極的な提案をお願いします。利用者の状況に応じたサービス提供や提案をしていただいております。利用者の身体状態の変化を適切に連絡頂ける。 |
| 定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供 | 18 | サービス担当者会議等の場を通じて、利用者の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている | 2 | 2 | | | | アセスメントナースが可能な限りサービス担当者会議に参加することでより、医療的側面からの支援の向上が期待されます。また目標に対する評価も引き続きお願いします。 |
| (2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献 | | | | | | | | |
| 利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討 | 19 | 利用者の在宅生活の継続に必要なとなるサービスについてや、病院・施設への入退院・入退所の際などに、切れ目なくサービスを提供するため、多職種による検討や情報の共有が行われている | 2 | 1 | | | 1 | 利用者と最も接する時間の多い貴事業所が、もっている情報を関係機関に提供することで、より本人の状態に適したサービスが提供できると思いますので、引き続きプランへの積極的な提案をお願いします。 |
| 多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案 | 20 | 利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方法について検討し、共有がされている | 3 | | | | 1 | 他法人が運営する事業所との緊密な連携体制が構築されることを期待します。 |
| 3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 | | | | | | | | |
| (1) 地域への積極的な情報発信及び提案 | | | | | | | | |
| 介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信 | 21 | 介護・医療連携推進会議の記録は、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が行われ、サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている | 2 | 1 | | | 1 | 透明性の高い運営をしていくうえで、貴事業所が議事録をホームページに公開していることは評価できます。引き続き情報発信をお願いいたします。HP以外での確認方法はどのようなになっているか知りません。 |

| (2) まちづくりへの参画 | | | | | | | | |
|----------------------------|----|--|----|---|--|--|---|--|
| 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解 | 22 | 行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している | 1 | 2 | | | 1 | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、地域包括ケアシステムを構築する上で欠かせないサービスであり、貴事業所の皆様が区の方向性をりかいされ、サービス提供にあたられていることは利用者にとっても望ましいことであると思います。 |
| サービス提供における、地域への展開 | 23 | サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開している | 3 | | | | 1 | 人員の状況も等もあるかと思いますが、できる限り区内の広範囲に渡りサービス提供が行えることを望みます。いつも快く引き受けてくださる頼りになる事業所の一つです。 |
| ※採点欄の記入は不要です。 | | | 13 | 7 | | | 0 | 合計 73点 |

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 外部評価 | | | | | コメント |
|------------------|------|---|---------------|-----------------|------------------|------------------|-------------------|---|
| | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | (4点) できている | (3点) ほぼできている | (2点) できていないこと | (1点) 全くできていない | (0点) 実施状況を知らない | |
| Ⅲ 結果評価 (Outcome) | | | | | | | | |
| サービス導入後の利用者の変化 | 24 | サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている | 2 | 2 | | | | 以前であれば施設や病院での生活を余儀なくされていたかたが、このサービスを利用することで、住み慣れた自宅で可能な限り暮らし続けること自体が素晴らしい、ことであると思います。今後もご利用者おひとりおひとりの状況に合わせ、在宅生活の質の向上が可能となるように努めていただきたいと思います。 |
| 在宅生活の継続に対する安心感 | 25 | サービスの導入により、利用者や介護者が、在宅生活の継続に対して安心感を得ることができている | 4 | | | | | 利用者やご家族が安心してきているのは、コール機などのシステムがあるだけでなく、職員が訪問時にかけてくださる声掛けも大きいと思います。今後も引き続き、利用者やご家族の気持ちに沿ったサービス提供をお願いいたします。大変な利用者に対しても根気よくサービス提供していただいております。ありがとうございます。毎日の訪問で利用者および家族が安心してきている。 |
| ※採点欄の記入は不要です。 | | | 6 | 2 | | | | 合計 30点 |